

地域にある『頼れる存在』を知っていますか？



少子高齡化



医療

とつか未来会議

戸塚区
リビングラボ
フォーラム
2018

2018
11 / 戸塚公会堂
28 水



介護



育児

一人ひとりの意識の変化がとつかの未来を大きく変える

主催 / 戸塚区リビングラボ

＜主催団体＞NPO法人こまちぷらす / NPO法人いこいの家 夢みん / 特別養護老人ホーム和みの園 / 横浜薬科大学 / 株式会社大川印刷 / 株式会社太陽住建 / 株式会社横浜セイビ / 株式会社ウェルモ / リストグループ / 株式会社ツクイ (順不同)

こちらのQRコードより、
スマートフォンからアクセス可能です



戸塚区リビングラボとは？



アンケート集計結果閲覧
2019.1月上旬頃公開予定
(協力: 横浜薬科大学)



歴史と未来のまち とつか

〈後援〉横浜市政策局 / 戸塚区役所 / 戸塚区医師会 / 戸塚区歯科医師会 / 戸塚区薬剤師会 / 戸塚区社会福祉協議会
〈協力〉LOCAL GOOD YOKOHAMA (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ) / とつか区民活動センター / エフエム戸塚

「声」を知り「対話」で考える

進行

NPO法人 こまちぷらす

とつかフューチャーセッションとは

これまで計7回、
延べ約250名が
参加しています

「とつかフューチャーセッション」は、地域課題を考えアクションを起こしていく主体市民を増やしていく取り組みの一環として、NPO法人こまちぷらすの主催で、年3回実施しています。テーマは「子育て」「障がい」「介護」という当事者性のある3大テーマをベースに、当事者、支援者、企業、行政、地域といった異なる立場の人が30人～50人程度参加しています。ミニ講演会と、当事者の声を可視化したツールを使用した「3枚の葉っぱ」のワークショップを通し、立場を超えて共に考える対話の場となっております。



開催実績 since 2016

2016年度：10月「子育て」、2017年1月「障がい」
2017年度：5月「介護」、9月「子育て」、2018年1月「障がい」
2018年度：5月「介護」、10月「子育て」
※2019年1月に「障がい」を開催予定

これまでの参加者

- 子育て中の母親
- 子育て支援拠点等の支援関係者
- 企業
- 中間支援組織
- 就労移行支援事業所スタッフ
- 若年性認知症カフェ運営者
- 介護事業所職員
- 介護当事者
- 障がい当事者とその家族
- 行政職員

過去の参加者の声

子育て・介護・世代交流、人と人をつなぐことが求められていると実感

私自身は障がい児の母親だが、そうでない人たちもこんなに障がいについてや地域の居場所について社会を良くしていきたいと考えていることがわかり、幸せな気持ちになった

自分の一主婦の声が企業・行政にとどくかと思うとドキドキしていたが、聞いてもらえて誰かの気づきになることがとても嬉しかった

この場でないと出会えなかったであろう方と出会い、自分の思いや相手の思いを聞いた

「子育てをまちでぷらすに」を合言葉に、「子育てがまちの力で豊かになる社会」を目指して活動しています。居場所としてのごまちカフェの運営を中心に、子育てで孤立することなく、様々な人の力が生きる機会を増やすため、社会的課題解決型事業を提案しています。またカフェにおいては、子育て中の母親向けのおしゃべり会の他、発達障害の子をもつ親のための「でこぼこの会」、不登校ひきこもりの親の「ほっと一息金曜日」、ダブルケアを中心とした介護者のための「ケアラズカフェえんがわ」など、多様な事業もそれぞれ月1回開催しております。

団体概要

社会福祉法人と地域が紡ぐ「縁(えん)」～地域のことは地域で解決する仕組みづくり～

発表者

社会福祉法人と地域つながる連絡会

社会福祉法人 和みの会特別養護老人ホーム 和みの園 施設長 木内菜穂子
横浜市戸塚区社会福祉協議会 山川英里

発表のポイント!

この連絡会を基盤に、既存の制度やサービスでは対応できない狭間の問題に対し、地域とともに、民間組織である社会福祉法人の強みと専門性、そして法人単体ではなくネットワークを生かした様々な取組や広がる支援の可能性を探ります。

「ALLとつか」で取り組む意味

戸塚区で現在発生している多種多様、山積する地域の課題を解決し、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を実現するためには、地域の活動団体・組織、ボランティア、NPO法人、民間企業、社会福祉法人等が重層的に連携・協働した取組が必要。

期待される効果

- 地域と社会福祉法人の両者のつながりを通じて、**相互の利点を生かした取組や活動が地域で展開される。**
- 地域において様々な主体による取組や活動が生まれ、**住民や地域の力が向上する。**
- 社会福祉法人同士が協働・連携することで、制度の狭間の課題に対し「**点**」ではなく「**面**」で取り組むことができる。

連絡会の重要な視点

- **地域との最良のパートナーシップを実現する**
 ↓ エリアマネジメントへ積極的に参画し、社会福祉法人・施設が地域(住民)の生活と福祉をつなぐ「**架け橋**」となる。
 ↓ 地域住民や地域の多様な機関と相互の状況や考えを理解し、**お互いのリソースを出しあって**できることを柔軟に考える。
- **連絡会の基準＝ミッション・ポリシーを設ける**
 ↓ 社会福祉法人同士のつながりを強化するため、思いをひとつに「**つながるアイテム**」として基準を設ける。



『いつでも 困ったときでも、つながれる あなたの「まち」の社会福祉法人』

地域と社会福祉法人が期待すること

地域から社会福祉法人・施設へ期待すること

- 【施設機能の提供】
 - ・施設内に、地域の誰もが自由に集える居場所があると良い。(ふらっとステーション的要素)
 - ・立地問題や身体機能の低下により会場へ来られない住民の送迎をして欲しい。
 - ・住民が使えるスペースや集える場があると良い。
 - ・健固な建物や備品が充実している施設を、地域の避難場所として活用させて欲しい。
- 【専門性の高い人材の活用】
 - ・講座や研修で講師をして欲しい。
 - ・生活困難者(認知症等含む)への支援方法やアドバイスをして欲しい。
 - ・行政や地域ケアアプサザが対応できないときに、対応(連絡や相談)して欲しい。
 - ・何かあった時のかけこみ等になりたくない。
 - ・相互の交流にとどまらず、一歩踏み込んで一緒に地域課題を解決していきたい
- 【近隣同士の付き合い(関係性の構築)】
 - ・地域イベントへ施設(利用者含む)も積極的に参加し、交流を図りたい。
 - ・施設から積極的に地域イベントへ参加して欲しい。
 - ・施設と顔のみえる関係ができれば、施設に対する苦情も減る。
 - ・自治会町内会と関係を築いて欲しい。
 - ・自治会町内会単位でのより身近な地域で様々な施設・団体とかかわっていきたい。
 - ・地域は福祉に対してベクトルを向ける時期にきており、そのためにも施設と顔の見える関係づくりが必要。
- 【広報・啓発】
 - ・地域に対してっと施設をPRして欲しい。
 - ・ひとめでわかる区内の施設所在地一覧と、施設の特徴・魅力が比較できる資料があると良い。

社会福祉法人の『見える化』と『アイデンティティの確立』

- ・地域情報紙タウンニュースへの**社会福祉法人名等の掲載** (22法人29施設)
- ・社会福祉法人のネットワークの一員としての証である**ステッカーの配布** (22法人29施設)
- ・「**エフエム戸塚**」での**社会福祉法人・施設の情報発信** → **リレートークの実施**
- ・既存の制度、システムに参画 → 「**みまもりネット**」への参加

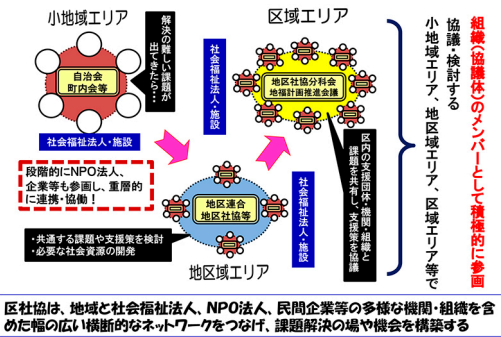


連絡会の目指すべき姿

- 『**地域の課題は地域で解決する**』
⇒ **ワンストップサービスの実現**
- **困りごとを抱えた『ひとり』のために動くことができる民間組織の強みを生かした、制度や市場原理では 満たされないニーズへの対応**
- **区内社会福祉法人・施設による分野を越えたネットワークの構築と取組**
⇒ **地域福祉型社会福祉法人連合体の確立**



地域の声はここで「ひろう」!



スライド 抜粋

団体 概要

区内の社会福祉法人・施設が、高齢・障害・こども等の分野を越えて社会福祉法人同士いつでも連携できるネットワーク体制を構築し、地域とともに、個別課題から地域全体の課題を相互に共有、課題解決や体制づくりについて柔軟に考える場として「社会福祉法人と地域つながる連絡会」を開催しています。

“株式会社”が地域とつながるハードル～地域での活動を通じて～

発表者

株式会社ツクイ

ツクイ東俣野営業所 管理者 寺島 妙

発表のポイント!

高齢化社会をどうすれば良いのか？これは誰もが不安に思っている事ではないでしょうか？“株式会社”も同じです。地域にある企業として「いったい私達に何ができるのか？」を常に考えております。しかし“株式会社”が地域とつながるには大きな壁があります。まずは皆様に“株式会社”が地域に対し何ができるのか？何が得意で何が苦手なのか？知って頂き、安心して暮らせる街づくりを地域企業と共に考えるきっかけになればと思います。

地域とつながる思い

「困った」時に駆け込める場所になりたい！

認知症による徘徊 誰に相談すれば？

外出中に体調不良 誰か助けて！

下校中に 転んじゃった！

あのお婆ちゃん、 家に帰れないのかな？

ホームの入居って いくらくらい？

地域の施設が地域を見守る！

見えた課題

- 株式会社 = 営利目的 = 不信感
- 地域（資源）に関する情報量が少ない
- 地域の人たちの顔が見えにくい

スライド 抜粋

活動内容

- 老人会にて介護予防講座を開催
- 民生委員主体の活動へ専門職種の派遣
- 小学校での車椅子講習

車いすの種類と利用目的

見えた課題

活動内容

- NPO法人へ定期的な研修会開催
- 地域限定認知症ガイドブック作成
- 地域交流会の開催

見えた課題

団体概要

ツクイ横浜東俣野営業所は地域の通所介護事業所として365日、お客様が安心してご自宅での生活が送れる様ご支援させて頂いております。言語聴覚士・作業療法士といった専門職種による機能訓練の実施や看護師を配置して胃瘻・痰吸引など医療依存度の高い方の受け入れも柔軟に対応しております。大浴場だけでなく機械浴も完備し、車椅子の方でも安心して入浴が可能です。

地域づくり ~インフォーマルサービスとの関わり~

発表者

シニアウイル株式会社
副社長・統括施設長 坂井 奈美江

発表のポイント!

地域密着型サービスである小規模多機能は、地域包括支援システムを見据えた地域の資源となれる取り組みが必要と考えています。地域の資源として気軽に立ち寄って頂ける施設づくりの方法を模索していますが、施設だけでは決して出来ません。地域の中で活動させて頂くための取り組みや、苦戦している状況を今回の発表としました。

小規模多機の役割…

通いサービス・訪問サービス・泊りサービス 24時間365日の生活を支援する。

- ★『通い』顔なじみとなった職員が『訪問』『泊り』も対応することでご利用者様の安心に繋がられる。
- ★住み慣れた地域でその方らしい生活の継続ができる。
- ★昔ながらの馴染みの関係性を保つことができる。
- ★お一人お一人の状況を把握している職員が緊急時にも対応できるので安心して在宅での生活が継続できる。
- ★通い・泊まり・訪問を組合せ必要なサービスを必要なだけ提供！料金が定額なので安心してサービスが利用できる


地域密着型サービスならではの視点で、その方地域との関わりを大切にしてきた。

地域との関わりが、要件ともなっている加算も登場

…総合ケアマネジメント加算…

個々の馴染みの関係性の継続だけではなく、地域をつくる？

地域の資源となるためには？
どうすればいいの…？



スライド
抜粋

今までの他職種との関わり…

- 病院との連携**
 - 研修会等を通じ常に医師・看護師・MSW等と情報交換を行い、顔の見える関係性づくりを心掛けている。
- 在宅サービスとの連携**
 - 連絡会等へ積極的に参加。小規模・看護小規模の役割の周知を行う。関係性づくりを行う。
- 老人保健施設(リハビリ施設)との連携**
 - 施設からの退所者を積極的に受け入れる。また、小規模をご利用中の方に筋力等の低下が見られる。または、集中的なリハビリを行うことで予防・維持できるよう提案を行う。施設との関係性を良好に保つことでご利用者様の利益へと繋げている。


現状の取り組み

地域交流を行う地域の居場所づくりを行う

多世代交流を企画 →
保育園 幼稚園 高校 看護学校 等と交流開始
月1回～年数回と頻度はまちまちであるが交流ができるようになった。

カフェやサロンを企画 (誰でも気軽に立ち寄れるようにしたい!) →
リーフレットを作成し、関係機関へ周知→上手くいかない (誰にも来てもらえない) →横浜市へ相談→地域ケアプラザの地域担当に相談してみてもは？と助言頂く


現在進行形で模索中… 第一回開催にたどりついた施設もあるが…



今までの地域との関わり…

本人の今までの生活が途切れないため馴染みのスーパー、病院、美容院、友人、敬老会や趣味の会…本人が行きたいところへ行かれるためのケアプランを作成!

- 医療対応が必要なケースも家族にも役割を担当して頂き、地域の病院や訪看や往診医…等々と積極的に連携を行いました。
- 近隣の方がボランティアに来て下さったりお声かけくださったり…お花や野菜を持ってきて下さったり…



現在の課題

誰でも気軽に立ち寄れる…**カフェやサロンを作りたい!**
定着させ地域の居場所づくりをしたい

課題① どうやって地域の方を招く? (来てもらえるの?)
どうやって周知する?
(気軽に立ち寄って良いんだ!と知って頂くためには?)

課題② 定着するには**どんな取り組みや連携が必要?**

気づき…
今までは、ご利用者様が築いた地域との関係性を維持してきてただけだった
待ってるだけではダメだった…
…地域づくりの難しさを再認識できた…

団体
概要

シニアウイル株式会社では、小規模多機能・看護小規模多機能地域の資源となれるよう、通いサービス・訪問サービス・泊りサービス 24時間365日の生活を支援する在宅サービスを行っております。中重度化された方を在宅で支えるためには訪問が不可欠であると考え、1日複数回の訪問や緊急の通いや泊まりなど臨機応変な対応を心掛け『馴染みの地域で最後まで』を合言葉に日々活動しています。

もはや他人事ではない。～家の困りごとは 誰に頼めばいいの?～

発表者

株式会社横浜セイビ
統括マネージャー 川口 大治

発表のポイント!

家事代行サービスと聞いて、まず「私には関係ない」と考える方が多くいます。ご利用者は、30代～90代まで幅広くいらっしゃいます。100人に1人のサービスと言われる家事代行の現状と、利用されている方の実際の声を聞いてもらう事で、どこかの誰か向けのサービスではなく、私にも当てはまるサービスであると気づいてもらえる幸いです。



家事代行って、何するの?

- 家の水回りのお掃除や、炊事、洗濯など、一通り家の中でやる「家事」全般に対応します。

	家事代行	家政婦
契約	会社	個人
時間	時間制	日割制(住み込みも)
内容	個別指定	多岐に渡る

- やってほしいことを頼めるので、開始しやすい。
- 片づけや、部屋の模様替えの相談も増えてます。

スライド
抜粋

ご利用の事例

- 戸塚区在住、80代夫婦
- なぜ利用しようと思ったか?
→体力の衰え。
- でも、きれいにしたい。
- 継続利用しての現在の感想。
→始める前は、誰が来るのだろう?と少しの恐怖心と見られたら恥ずかしいという気持ちがあったが、やってみると心も晴れやか。家で快適に暮らせる。

片づけが出来ない理由とは

整理・収納のお悩みごと調査

もったいない、せっかく買ったのという気持ちがモノを捨てられなくさせています。

利用に躊躇してしまう原因とは?

- 人に汚れている所を見られるのが恥ずかしい。
- 家事は自分でするものであると思っているから。
- 価格が高くて、もったいない。

子育て世代からの依頼理由		高齢者からの依頼理由	
恥ずかしさ	忙しさ(時間不足)	恥ずかしさ	大変さ(体力不足)

家事代行のこれから

- 家中での暮らしがますます大変に。
- 人生100年時代に快適な環境で暮らしていくには、誰かに頼ることも必要。
- 訪問介護などと共に求められる時代に。

団体
概要

株式会社横浜セイビは、病院や介護施設、ショッピングセンターなど建物のメンテナンスや環境用品を販売することを生業としています。時代が変化する中、家事代行サービスのコピエは、2012年2月にスタートし7周年を迎えようとしています。百人百様のサービスの肝は、その人に合わせた「お客様合わせ」をどこまで出来るか、日々挑戦しています。

オープンデータを活用した地域資源の見える化

発表者

株式会社ウェルモ

執行役員 地域資源開発部シニアマネージャー 木村 亮太

発表のポイント!

ご高齢者の暮らしを支えるためには、多様な地域資源の適切な組み合わせと、事業主体間での連携が求められています。私たちウェルモは、相談援助を担う方々が地域資源情報を検索・管理できるサイトを作っています。しかし、本当に地域資源を「見える化」できるまでの道のりは長く…。

地域包括ケアの未来像

●高齢者の在宅生活を支えるためには、多様な地域資源の組合せと、事業主体者間の連携が重要とされています

生活支援サービスの提供イメージ

多様な地域資源の組合せ

事業者主体者間の連携

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

地域展開の壁

●情報プラットフォームとしての“にわとりたまご問題”

●介護業界は新しいシステムの普及と難易度が高い

【にわとりたまご問題】

掲載情報が充実しないと、ユーザーが使わない

ユーザーが少ないと、掲載情報が集まらない・更新されない

これらの壁を乗り越え、プラットフォームを成立させるには、地域に根差した地道な普及活動が不可欠です

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

スライド 抜粋

ウェルモが取り組む課題

多様な地域資源の組合せ

- 多様な資源の存在の把握が難しい
- 利用者目線での情報選択・提供が難しい
- そもそも、資源が不足している
 - 横断型サービス、シニアウィル等の発表のような好事例もあるが…

事業者主体者間の連携

- お互いの文化の違い・コミュニケーションの機会が少ない
 - 社会福祉系人と地域つながり連絡会等の発表のような好事例もあるが…
- そもそも、どのような事業者主体者が存在しているのかわからない

ウェルモが取り組む課題

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

戸塚区での取り組み

●まずは掲載情報を充実させるところから…取り組みを開始しています

【にわとりたまご問題の解消】

掲載情報を充実させて、ユーザーの登録・利用を促進

ユーザーが見ている、活用していることを示し、掲載情報をさらに充実化

ケアネット戸塚（戸塚区介護支援専門員等連絡会）様と連携

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

打ち手 | 地域資源をまるごとひとつのデータベースに

●多様な地域資源から、専門職がご利用者のニーズにぴったりの事業者・団体を探し、分かりやすくご提案することができます

オープンデータと独自収集の組合せで、データベースを構築

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

プラットフォームとして目指すかたち

●WEBとリアルをつなぐ、「ハブ」としての役割へ

- 地域資源の情報プラットフォーム（WEBサイト）を普及させる過程で、ウェルモ自身が多様な事業者主体の皆様と、リアルでつながることできます
- ウェルモは、WEBプラットフォーム上での地域つながりを、リアルに落とし込むことで、「地域包括ケアシステムに欠かせない“顔の見える関係性”づくりの一助になることを目指しています

●地域資源活用のPDCAサイクル

- 地域資源を把握し、地域ごとの傾向を分析することで、新たな地域資源の開発につなげるPDCAサイクルを回すことができると考えております
- ウェルモは、“顔の見える関係性”に、地域資源DBを付加することで、新たな地域資源を生み出す対話の場へと発展させていくことを目指しています

Copyright © welmo Inc. All Rights Reserved.

団体概要

株式会社ウェルモは、福祉に関わる社会課題の解決をミッションに掲げています。「ご利用者と働き手の想いに、もっと寄り添える介護業界」を目指し、地域資源の見える化サイト「ミルモネット」構築、ケアプランの作成を支援するAI「ケアプランアシスタント」研究開発などの事業を推進しています。

とつか未来会議 とは？



ご協賛いただいた企業・団体の皆さま

医療法人芽美会石川歯科医院／原宿わたなべ歯科診療所／社会福祉法人けいあいの郷影取／株式会社介護施設研究所／コンパッション税理士法人横浜青葉事務所／有限会社誠幸商事／司法書士法人花沢事務所／横浜セレモ株式会社／一般社団法人戸塚区医師会／戸塚歯科医師会／戸塚区薬剤師会／株式会社クローバー／医療法人社団協友会老人保健施設ハートケア横浜小雀／株式会社神奈川福祉経営研究所／医療法人社団みずほ会アーク歯科クリニック／ドクターメイト株式会社／株式会社高齢者シニアサポート／医療法人社団白峯会三ツ沢上町歯科医院／株式会社ヘルスアンドヘルス／訪問看護オープンズ大地／株式会社Maeda／株式会社シモジマ／株式会社ケアプラス横浜港南営業所／アイ・コンサルティング株式会社／ピーエス工業株式会社／イーライフ株式会社横浜／日本エアーテック株式会社／訪問医療マッサージKEiROW横浜港南ステーション／神奈川ロイヤル株式会社／横浜銀行戸塚支店／仁天堂薬局／有限会社あい薬局／株式会社サンティ／伊藤忠人事総務サービス株式会社／三井農林株式会社／株式会社キャリアドライブ／株式会社ユニマットライフ(順不同)

本日のスケジュール

9:30～受付開始

午前の部

10:00～ ● 午前の部／開会ご挨拶

10:10～ ● 未来会議Part①

とつかフューチャーセッション
inとつか未来会議
～「声」を知り「対話」で考える～
進行／NPO法人こまちがらす

とつかフューチャーセッション 参加者

事前にお申し込みいただいた一般・学生・各法人・企業・行政など多種多様な方々、約30名からの「声」をいただきます

11:30～ ● お昼休憩(～12:00まで)

12:00～受付開始

午後の部

12:45～ ● 午後の部／開会ご挨拶

● 来賓ご挨拶

12:55～

● 未来会議Part②

当事者の声から考えるこれからのサービスのあり方

13:05～

● 未来会議Part③

戸塚区役所による『実録・戸塚区の高齢化』

13:25～

● 未来会議Part④

事例発表

- ① 社会福祉法人と地域つながる連絡会
- ② 株式会社ツクイ
- ③ シニアウイル株式会社
- ④ 株式会社横浜セイビ
- ⑤ 株式会社ウエルモ

途中休憩あり

15:15～

● パネルディスカッション 未来会議Part①②③④から見えた課題について

パネル
ディスカッション
参加者

戸塚区医師会 副会長……………大久保 辰雄様
戸塚歯科医師会 地域医療理事……………石川 茂樹様
戸塚区薬剤師会 在宅担当理事……………湯川 仁様
横浜薬科大学 薬学部臨床薬学科5年……………渡 栄子様
株式会社大川印刷 代表取締役社長……………大川 哲郎様
戸塚区在宅療養連絡会 ほーめっと 代表……………我妻 正子様

● 総評

16:15～閉会式 (16:45～懇親会)